



第31回ミドルボート選手権2019

ジュリーポリシー

2019年5月1日

1. 事故の無い安全なレースが展開されることを本大会の第一目標とします。
2. 併せて 参加艇、選手の満足する大会になることを心掛けます。
3. プロテスト委員会は、基本的に艇に対しては抗議を行いません。
但し、RRS 2（公正な帆走）、RRS 69（重大な不正行為）に抵触する可能性の有る場合には、プロテスト委員会は抗議することも考えます。
尚、抗議に値するルール違反を目撃、情報を入手した場合には、プロテスト委員会に報告して頂くことを求めます。
4. 審問に先立ち、RRS 63.2に基づき、当事者には審問の準備の為に十分な時間を取ります。それ故に、抗議書は出来るだけ早く被抗議艇、プロテスト委員に配布出来るように心掛けて下さい。
5. 抗議、救済要求の有効性の判定にあたっては、RRS, SI も含め、定められた手続きを厳格に適用します。
6. 裁量ペナルティ【DP】に付いては World Sailing の指標に基づいて対応します。（*【SP】に付いては10%（四捨五入）の得点ペナルティ）
7. 審問の再開については、3での十分な準備を踏まえ、「新しい証拠」については、合理的な理由が無い限り相当限定的となります。
8. レース運営等でルール上の問題点等がある場合は、その問題をなるべく早く回避、解決できるように、レース委員会等と緊密に連絡を取ることを心掛けます。

プロテスト委員長 榛葉 克也